

古文書を読む会学習記録

作成日 平成31年1月3日

開催日	平成30年12月27日	時 間	10:00～12:00
場 所	区民活動センターAB会議室	出席人数	14名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 浩士
テーマ	第二学習 艱難実録(函館戦争)(下)⑩		
概 要	<p>一、12日沙原出立。小笠原公から使者があり、昨日異船が箱館に来て、乗組みのスネルの番頭ハリイから兼ねての通りお迎えに伺う旨の話があったとのこと。君公はじめ一同大いに悦んだ。</p> <p>一、13日大野村を出立。七重浜で桑公と待合わせのところ桑公は箱館へ引き返し仏人ハーフル館を訪ねた。その後両公の相談で七重浜でハリイに会って談判することとした。しかしその夜、異船の件は行違いで乗船できなくなったと箱館から知らせがあった。それは異船の船将とハリイの間で争論があり、船将が怒ってハリイに構わず船を出してしまったとのこと。このことを三公がお知りになり大いに驚愕し途方にくれた。</p> <p>一、ハリイは青森に異船が居るのでそれを雇ったらどうかと言ってきたが、難しそうなので止めた。金子屋帟吉にハーフルに相談するようにたのんだところ、幸いにも明日出帆する船があり、一人だけなら乗せられるとの返事を得た。議論している場合ではないため翌朝桑公が乗船することになった。</p> <p>一、西郷熊三郎から御迎船や萬之進様宇都宮家への御預けなどの費用として弍千両を弟のスネルへ渡したとの書状が届いた。</p> <p>一、14日亀田出立。ハリイは信用できないため途方に暮れていたが、帟吉に頼んだハーフルと談判できた。それは3、4日中に着くゴチョウ艦への乗込みの依頼で、この件を両公へ報告に行く。</p> <p>一、15日。昨夜ゴチョウ艦入港。談判の結果明後日には河汲へ回漕されることになり一同大悦びした。</p> <p>一、16日未明オサシベ着。夕方箱館から高橋恭輔が来て、ゴチョウ艦は昨夜青森に向けて出帆したと告げた。訳が分からず、ハーフル方へ行ったところ小使だけがいて、箱館役人からここから日本人は一人も乗せてはいけないと言われたと言っていた。ハリイも当てにならず、この上逃げ回るよりも五稜郭へ入ったらなどと言うことまで議論された。</p> <p>一、翌17日高橋と出立。ヲサシへ来るよう御沙汰があり翌18日に出立。これまでの行違いなどを泉州、対州に説明。桑公については、何の兵隊か不明だが、行方を追われた。今後の脱出について泉州と話すことにした。</p>		
次回予定	平成31年1月10日 10:00～12:00 於：区民活動センターAB会議室 第一学習 野島浦 鈴木家文書⑬		